



2012-13

週報



パワー浜松ロータリークラブ事務局
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2
オークラアクティホテル浜松4307号室
Tel/Fax 053-452-0800

Email info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日
認証伝達式/2003年4月29日
スポンサークラブ/浜松中RC



奉仕を通じて
平和を

田中作次
2012-13年度
国際ロータリー会長

RIテーマ「奉仕を通じて平和を」、会長/田中作次(八潮RC)
2620地区のテーマ「クラブは自ら活性し、お互いのつながりを実感しながらロータリーを伸展させよう」
ガバナー/高野孫左卫門(甲府RC)
パワー浜松RCのテーマ「固く結ぼう心の絆、分かち合おう総ての仲間と」、会長/小澤邦比呂

第465回例会 11月27日(火)AM7:30~8:30
オークラアクティホテル浜松4F平安の間
司会: 中野 雄介 寺田 洋平
点鐘: 小澤邦比呂 ロータリーソング: 我等の生業

出席
報告

89名中69名77.52%
前々回修正出席率75.86%

会長挨拶

ロータリアンの皆さん、おはようございます。
「しぐさ」についての話をします。昔、江戸の商人たちが町が安泰で商売が繁盛するためにお客様と良い関係を築き、それを保つにはどうすればよいかとあれこれ、いろいろと知恵を絞り工夫を重ねて磨き上げた人づきあいのノウハウが「江戸のしぐさ」といわれているものです。ビジネスの基本は良い人間関係であり繁盛はそれによってもたらされる二次的利益にほかなりません。豪商といわれるお店の主人は使用人が「おはようございます」と挨拶をすれば「おはようございます」と同格の言葉で挨拶を返したといいます。常に足元で働く人々に感謝と励まし心をもっていただいているように思います。そうした大人のしぐさは下の者にとって立派で、かっこ良く、尊敬に値する人間の器を感じたことでしょう。こうしたことから「江戸のしぐさ」は『ノブレス・オブリージュ(高い身分に伴う道徳的義務)』といわれる質の高い振る舞いであり、上に立つ者の行動哲学となっていました。これはロータリーの精神にも通ずるものがあります。儲けるため、ライバルに勝つためなら何でもやる、保身のためなら部下や仲間でも斬り捨てる。1960年頃から始まった高度経済成長によって人を押し退けても稼げ稼げの波に乗せられてお金だけが幸福だという思い込みが浸透し子供たちは肝心の躰の糸もかけられず偏差値というモノサシで計られ知識だけが詰め込まれるようになった気がします。当たり前なことを何気なく、スマートに、生活の中でしぐさとしてあらわす事が出来る人たちが少なくなっているのも事実です。礼儀の国日本が少しずつゆがんできています。このようなことは子育てにもあらわれているような気がします。あるイギリス在住の日本女性が若い英国人夫婦を訪問したときのことで。若い父親は幼い息子に食事をさせていました。若い父親はスプーンで離乳食を与えるたびに「サンキュー」と語りかけます。「赤ちゃんはまだ口が利けないしわからないでしょう?」と彼女が言うと、若い父親は「もちろんしゃべれませんが、彼が最初に覚える言葉がパパ・ママではなくサンキューであってほしいから」と答えたというのです。日本の若い父親がこのような心がけで子育てをしているのでしょうか? 本当に考えさせられる話です。
『人生はありがとうから』・・・いい言葉です。感謝の心を持つことが人間関係を良くすることに通ずるように思います。ありがとうからはじまれば素晴らしい一日となると思います。以上です。

幹事報告

例会終了後第5回理事会が開催されますのでご参集願います。
次週は、会場監督の担当で『浜松のものづくり』について松尾良一さんよりお話をいただきます。



スマイル報告

富田 清志 さん
新規事業として取り組んできたLEDの製品で、浜松駅南の砂山にお店をOPEN致します。LEDでは、静岡県より経営革新で賞状を戴きました。ちなみにOPENは、12月1日(土)で、2日間先着100名様にプレゼントがあります。駐車場は6台、その他止めるところは考えています。どうぞよろしく。



2012-13

第 465 回例会
11月27日(火)
議事事項



パワー浜松ロータリークラブ事務局
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2
オークラアクティホテル浜松4307号室
Tel/Fax 053-452-0800

Email info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp
創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日
認証伝達式/2003年4月29日
スポンサークラブ/浜松中RC



1. 入会式 会員増強維持部会



村田 誠 氏 誠興電気株



牛田 悟 氏 和合郵便局 局長

2. 卓話 『第2620地区国際奉仕の現状と取り組み』 担当:国際奉仕PJ

ロータリアンとその家族のための国際交換プログラム、「ロータリー友情交換プログラム」では、参加者は他国のロータリアンの自宅に滞在し、異文化を体験することができます。このプログラムを道して、ロータリアンは他国のロータリアンとの友情を築き、親睦を深めます。ロータリー友情交換プログラムは、国境を越えた人と人との交流によって国際理解と平和を推進するとともに、クラブ間の親睦と奉仕の協力関係を生みだすものです。

2012年度 ロータリー友情交換プログラムの概要
チーム交換プログラム

ロータリアンの夫婦(一般に4組から6組)が最長1カ月間、ホスト地区の数々の市町村を訪れます。
対象地区国際ロータリー第5280地区(アメリカロスアンゼルス)

1. 参加資格者 募集人数
当地区所属のロータリアンで、2名のペアで1組を形成、2組から4組(計4名から8名)第5280地区の意向で御夫婦であることは必要条件ではありません。
2. 旅費訪問時の渡航費は原則として自己負担
現地でのホームステイ、食事、観光は先方負担
受入の際は逆に参加者の負担
3. 受入時期 2013年 3月30日もしくは31日より1週間
4. 訪問時期 2013年 4月28日より1週間
訪問前後の日程については自由行動
各自自己責任で行動(プログラム外)
5. 原則としてプログラムに参加し訪問するペアが、受入のホストとなります。
6. 現地及び当地区でのスケジュールについては、事前に相手地区委員会との間で合意の上最終的に決定します。
7. 派遣、受入オリエンテーション(25年1月27日に開催決定)への出席義務があります。
8. 地区委員会への派遣、受入報告の提出義務があります。
9. ガバナー月信への投稿を要請される可能性があります。



詳しくは「ロータリー友情交換の手引き」をダウンロードし、ご参照ください。